

## PowerChute Business Edition v9.2.1 インストールの前に

PowerChute Business Edition v9.2.1 は、バージョン 9.1.1 のセキュリティアップデートです。本アップデートでは、以下のセキュリティ対応を行っています。

- POODLE SSLv3 脆弱性への対応
- メール送信の際の SMTP ポート番号を変更できる機能の追加
- JRE 8 update 60 以上にアップデートするとサーバー&エージェント間の通信が切断する問題への対応
- JRE 8 update 91 およびそれ以降の JRE にアップデートできない問題への対応

PowerChute Business Edition v9.2.1 は、バージョン 9.1.1(エージェントバージョン 9.1.1 および 9.0.3)からのアップデートインストールのみ可能です。

### アップグレードする際の注意点:

- アップグレードインストールとは、既存の PowerChute バージョンをアンインストールすることなく、旧バージョンの上に新バージョンを上書きインストールすることを意味します。この場合、PowerChute の設定は維持されます。
- PowerChute のコンポーネントは、エージェント、サーバー、コンソールの順序でアップグレードする必要があります。エージェントを v9.2.1 または v9.0.4 にアップグレードする場合は、PowerChute コンソールとサーバーも全て v9.2.1 にアップグレードしなければなりません。

### アップグレードインストール方法:

#### **Windows OS の場合**

1. pbesetup.exe を実行します。
2. [製品のインストール]ボタンをクリックします。
3. アップデートしたいコンポーネントの[アップデート]ボタンをクリックします。
  - ※ ここで、[アップデート]ボタンが表示されない場合、PowerChute Business Edition v9.1.1 がインストールされていません。[終了]をクリックしインストーラーを終了し、PowerChute Business Edition v9.1.1 をインストールした後でアップデートを実施してください。
4. インストール済みの PowerChute の設定を引き継ぎ、PowerChute のインストールが行われます。

#### **Linux OS の場合**

- お使いの UPS に DB9 シリアルポートがある場合 (Smart-UPS SUA/RT モデル)  
`rpm -U pbeagent-9.0.4-308.i386.rpm`
- お使いの UPS に RJ45 シリアルポートがある場合、以下のコマンドを実行してください。(Smart-UPS SMT/SMX モデル)  
`rpm -U pbeagent-9.2.1-308.i386.rpm`
  - ※ 「install\_pbeagent\_linux.sh」スクリプトを使用してインストールディレクトリを指定することや、アップグレードを実行することはできません。

注意: アップグレードを完了したら、予想通りに設定が引き継がれたかどうかを確認してください。

以上